

令和7年度 第2回

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム市町村分科会

鴻巣市

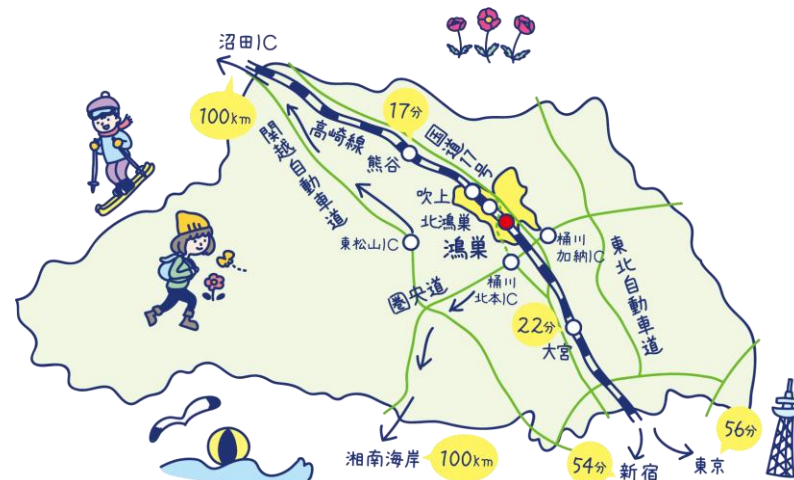


SDGs 未来都市
KONOSU

1 鴻巣市の概要

- ◇人口:117,605人
- ◇世帯数:54,336世帯
(令和7年12月1日現在)
- ◇面積:67.44km²

「全国戻りたい街ランキング2021」
で全国18位、**埼玉県内1位**を獲得
(出展:生活ガイド.com)



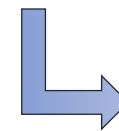
ひな人形と花のまち鴻巣



日本一の川幅(2,537m)



(←平常時)



(大雨後)



こうのとりの伝説



鴻巣市内にある**鴻神社**では、コウノトリが産んだ卵を狙った大蛇を退治したことで平和な日々が続いたとされる「**こうのとりの伝説**」が伝わり、一説では市名の由来とも言われている。

飼育・放鳥



コウノトリをシンボルとした環境保全活動や産業振興を展開するため、令和3年10月にコウノトリのつがい(空と花)を受け入れ、令和4年1月に野生復帰センター「**天空の里**」をオープン。

パートナー



【出典】ストックホルム大学ストックホルムレジリエンスセンター

将来的な放鳥に向け、野生復帰したコウノトリが生息できる豊かな自然環境をベースに、**コウノトリをパートナー**に社会・経済分野の取組に波及させ、豊かな暮らしの実現を目指す。

市の鳥



合併20周年を契機に、**SDGsの更なる推進**や**市民のシビックプライドの醸成**を図り、もって、**経済・社会・環境の3側面が調和した持続可能なまちづくり**を推進するため、令和7年10月1日に**市の鳥として制定**。

3 鴻巣市SDGs未来都市計画で掲げる目指す姿

<2030年のあるべき姿>

人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす

経済

こうのとりと創るネットワークとにぎわいのあるまち

⇒コウノトリが人をつなぎ、「しごと」や「にぎわい」を創出

社会

こうのとりと描くライフデザイン

⇒コウノトリが赤ちゃん・幸せを運び、子どもたちが健やかに育つ環境と
鴻巣に住み続けたいと思える社会を形成

環境

コウノトリとともに生きる自然豊かな環境づくり

⇒コウノトリをシンボルとした生物多様性の確保と自然環境の保全

こうのとりにブランド



コウノトリ×ICT教育



コウノトリの餌場となる水田



市民と歩む 新しい鴻巣 の実現

SDGsの推進による持続可能なまちづくり

くらしやすさを実感できる
まちづくり

3つの基本理念

こども・若者、子育て
にやさしいまちづくり

SDGsの推進に向けた4つの取組

1 SDGsの周知・啓発

内閣府主催の「地方創生SDGsフェス」への出展など、コウノトリをシンボルとする本市のSDGsの取組を発信

2 SDGsポイント

SDGs達成に向けた活動に対し、サービス・商品と交換可能なポイントを付与する仕組み

3 こうのとりのSDGsパートナー制度

SDGsの取組を宣言した事業者等をパートナーとして認定するほか、交流会を開催するなど、連携による取組を推進

4 こうのとりのSDGsフェスティバル

SDGsに関する体験ブースなど幅広い年代を対象にSDGsを楽しく学べるイベントを開催

埼玉県ふるさと創造資金における県政策連動型事業(埼玉版SDGs推進事業)を活用



埼玉版のマスクドコトリン



5 SDGsの周知・啓発①

事業概要

本市のSDGs推進のシンボルである「コウノトリ」をテーマとした魅力的なコンテンツを体験することができるブースを制作し、豊かな自然環境づくりや多様な主体とのパートナーシップの推進によるSDGsの達成に向けた情報発信を展開する。

本市で飼育しているコウノトリの様子や、本市とコウノトリのつながり、コウノトリをシンボルとして築くSDGs未来都市としてのこれからについてまとめた動画を制作する。

これらの取組を通し、コウノトリをシンボルとしたSDGsの取組を効果的に普及啓発することで、市民のシビックプライドの醸成を図るとともに、シビックプライドから生起するSDGs達成に向けた行動変容につなげる。

地方創生SDGsフェス

開催日時

令和7年5月28日(水)～6月1日(日)
10時00分～20時00分
※5月28日 10時～13時は報道機関のみ

会場

EXPO2025大阪・関西万博
EXPOメッセ



地方創生SDGsフェス

ブース概要

本市のSDGsの取組と、そのシンボルであるコウノトリについて、楽しく体験・体感できるブースを出展。

翔ぶ

コウノトリの目線で川幅日本一の河川敷を羽ばたくVR体験を実施

願う

「幸せを運ぶ鳥」コウノトリを折り紙で作成し、世界中の幸せを願う

学ぶ

万博会場と「天空の里」をオンラインでつなぎ、コウノトリの観察やエサやり体験を実施

見る

「コウノトリ」のはく製の展示や市特産の花々で彩ったフォトスポットの設置

来場者数

5日間で約7,000人
※内閣府発表によるイベント全体への来場者数は41,450人



イベントの様子



5 SDGsの周知・啓発④

このす♡健幸フェス

概要

「地方創生SDGsフェス」に出展したブースを再現することで、本市のSDGsの取組を発信する。
SDGsポイント制度を活用したブース展開を行うことで、利用者の拡充を図る。

日時

令和7年10月4日(土) 11時00分～14時00分



市の鳥「コウノトリ」制定セレモニー

概要

本市のまちづくりのシンボルである「コウノトリ」を10月1日に「市の鳥」に制定したことを記念したセレモニーを開催し、プロモーション動画や横断幕のお披露目等を実施する。

★動画URL:「コウノトリとともに歩むまち」

<https://youtu.be/8gyRaaPakRw?si=8vxfjgaORveBCMSi>

日時

令和7年10月26日(日) 10時00分～



▲QRコードからも視聴可能

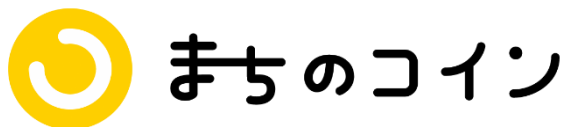


事業概要

各ステークホルダーにSDGsの自分ごと化と行動変容を促すため、市や地域団体、事業者が企画したSDGsの達成に貢献する活動に参加したユーザーがポイントを獲得し、獲得したポイントを市や事業者が提供するサービスや商品と交換できる仕組みを構築する。

事業運営

- アプリケーション名

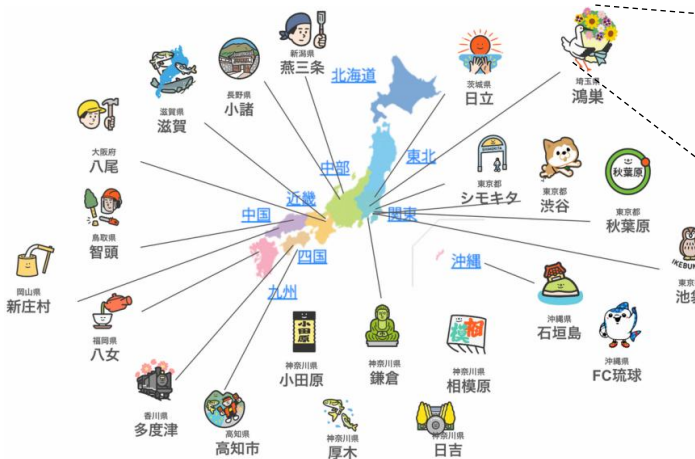


- アプリ運営事業者



導入実績

- 導入地域全国18地域、合計ユーザー数17万人以上



※鴻巣市のアイコン
コイン名:ブーケ

- 神奈川県SDGsつながりポイント事業に採択され、神奈川県内の自治体を中心に導入されている。



まちのコインの仕組み



体験や活動などを通じて期待できる効果

- SDGsをきっかけとしたスポット、ユーザーの行動変容
- ユーザーの地域活動への参画
- ユーザーのスポット(店舗)への来店のきっかけ 等

資料提供: 面自法人 カヤック

6 SDGsポイント③

まちのコインの現状

令和7年12月15日現在



ユーザー数
2,680



スポット数
68

体験・サービス数
348

※現在、鴻巣市内で実際に登録されている体験



2000円以上お買い上げの方に
500ブーケで揚げ物1つプレゼント

-500 あげる

現地で体験

田口肉店



ご飲食されたお客様に200ブーケ
で「天かす」プレゼント

-200 あげる

現地で体験

めん工房 久良一



チェックインありがとう♪

+100 もらう

現地で体験

池沢スタジオ (池澤写真館)



レジ袋を不要としていただいた
方に100ブーケプレゼント

+100 もらう

現地で体験

パン工房 ファイン

実施された体験を集計し、どの
ゴールに貢献したかを可視化

目標ごとの
割合

- 1位 パートナリシップで目標を達成し...
41%
- 2位 住み続けられるまちづくりを
14%
- 3位 気候変動に具体的な対策を
7%



6 SDGsポイント④

市事業における活用について

イベント

ご利用時間外
「花まつり」デジタルスタンプラリー(馬室)
残り9962件/日
+300 もらう

現場で体験
鴻巣市総合政策課

ご利用時間外
【さんフェス】スタンプ5個と1000ルーペで鴻巣市産お米(300g)プレゼント!
-1000 あげる
69人が利用 11/15 ~ 11/15

現場で体験

ご利用時間外
【のすば】オリジナルエコバックと交換できます!
-300 あげる
23人が利用 11/2 ~ 11/2

現場で体験
鴻巣市総合政策課

事業への参加率・回答率等の向上

ご利用時間外
公共交通に関する市民アンケート (WEB版) 回答で500ルーペプレゼント
残り1878件/日
+500 もらう

現場で体験
鴻巣市役所
122人が利用

ご利用時間外
「桜を守れ! クビアカツアカミキリ捕獲大作戦」
残り1件/日
+1000 もらう

現場で体験
鴻巣市役所

ご利用時間外
7/14(月)の市町村職員合同説明会で鴻巣市のブースに来て説明を聞いてくれたら
残り27件/日
+314 もらう

現場で体験
鴻巣市役所

ご利用時間外
【国保年金課】国民健康保険、後期高齢者医療制度ご加入の方で健診を受診してくれ...
残り9999896件/日
+1000 もらう

現場で体験
103人が利用



7 こうのとりSDGsパートナー制度①

制度概要

本市とともにSDGsの達成に向けた取組を実施する事業者等をこのとりSDGsパートナーとして認定し、その取組を広く周知するとともに、パートナー間の連携を促進することで、SDGsの達成又は地域課題の解決に向けた取組を推進する。

対象

企業

NPO団体

市民団体

学校

取組内容

Point 1

市HP等で事業者のSDGsの取組をPR

Point 2

パートナー認定証を交付

Point 3

パートナー向けセミナーや交流会の実施

Point 4

埼玉県SDGsパートナー登録制度への橋渡し

《認定証イメージ》



認定状況 (R7.12.15現在)

113事業者をパートナーに認定

※うち10事業者が埼玉県SDGsパートナーに登録



7 こうのとりSDGsパートナー制度②

交流会

SDGsの取組の推進やパートナー間の連携強化を目的に開催。

開催日時

令和7年7月15日(金) 14時00分～16時00分

内容

- (1)SDGsセミナー『SDGsを通じて地域社会や企業の課題を解決する』
- (2)ワークショップ

出席者

23パートナー(28名)



開催趣旨

鴻巣市SDGs未来都市計画に掲げる「こうのとりと創るネットワークとにぎわいのあるまち」の実現に向け、事業者・市民の皆さんなどと連携し、子どもから大人まで幅広い年代の方がSDGsの理解を深める場となるイベントを開催する。

開催テーマ

こうのとりSDGsフェスティバル2026 ~天空の里を目指して~

- SDGs(SDGs推進のシンボルである「コウノトリ」)をきっかけに、SDGsパートナーとの連携強化を図り、ともにまちづくりを推進する機運を醸成。
- 「こども」が楽しくSDGsにふれることができるよう、SDGsポイント制度と連動させ、体験ブースを回りポイントを貯めながら楽しめる仕組みの構築。

開催日時

令和8年3月20日(金・祝) 10時00分~16時00分

開催場所

クリアこうのす(鴻巣市文化センター)全館、せせらぎ公園



① ステージイベント(大ホール)



吉本興業と連携し、SDGsを楽しく学べるコンテンツを提供

イベント① 市民参加型企画

芸人と市民でチームを構成し、SDGsに関するお題等による「ポーズ合わせ」ゲームで対決。

イベント② SDGs漫才

SDGs漫才とよしもと人気芸人による漫才。

イベント③ SDGsトークショー

黒ラブ教授による子どもでも分かるSDGsのトークショーやクイズ大会の実施。

② SDGs体験・展示ブース

会場 小ホール・大会議室・展示コーナー

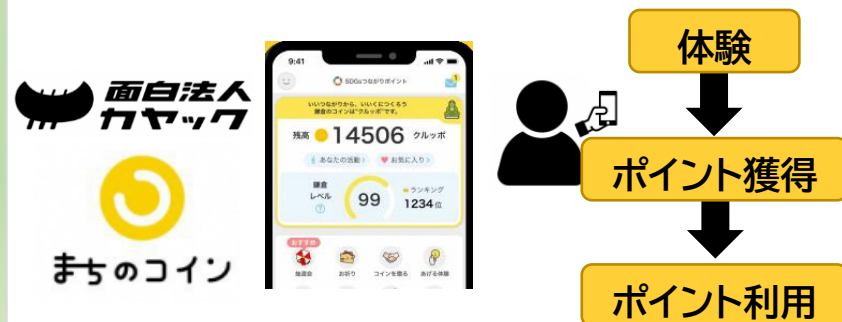
ブース数 20ブース(1区画 3m×3m)

出展団体

- このとりSDGsパートナー
- 鴻巣市役所関連部署
(パートナーとの共同出展)

出展内容

- SDGsに関連する取組の体験・展示や商品の販売。
ex)有機農業体験ブース、健康チェック、端材を使ったワークショップ、最新技術の体験、お金の教室



③大阪・関西万博出展ブースの再現



8 こうのとりにSDGsフェスティバル③

昨年度の様子



SDGs漫才



クイズ！黒ラブSDGs



SDGs喜劇(こうのとりにふるさと劇団)



SDGs関連商品、飲食の販売



キッチンカー



SDGs体験・展示ブース



まちのコインの案内・展示ブース



ご清聴ありがとうございました

